

別紙

1 件名

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」第1回評価・検証委員会
【てん末】

2 日時

令和6年10月25日（金）13時30分～14時20分

3 場所

滝沢市役所 2階 201会議室

4 出席者

滝沢ふるさと交流館	館長	三上 潤一
〃	事業課長	佐藤 樹理
株式会社スタディア		小野寺 奈津子
子育て課	課長	藤島 紀子
〃	主査	佐々木 亮介
生涯学習スポーツ課	課長	高橋 克周
〃	主事	村田 涼馬
〃	社会教育指導員	榊原 世士
〃	主事	西舘 陽真

5 内容

(1) 開会

(2) あいさつ 生涯学習スポーツ課長

(3) 説明

ア 委員会の開催目的について

交付要綱より活動目標の共有及び事業内容の検証・評価を行うことを目的として委員会を開催する旨説明。

イ 国庫委託事業の活動内容等の共有

国の資料を基に、関係者で共有しておきたい点について説明した。特にも本事業は無償ボランティアを含む幅広い地域の方々の十分な参画を得たうえで事業実施することが望ましく、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、社会総がかりで教育活動を行うことが重要となる旨説明した。

また、国では「校内交流型」を中心として、放課後児童クラブと連携した事業実施に努めることと示されていることから、今後教育委員会と市長部局がより連携した事業展開が必要となる。

その他詳細については、各自確認することとした。

(4) 協議

ア 活動目標の確認と評価方法について

補助金申請時の事業目的について確認を行い、目的達成のための成果指標として行うアンケートの実施について協議した。

今年度も「重点的に取り組む課題に応じた目標」を設定し、事業実施後評価・検証を行い、「検証結果」及び「評価検証の基礎データ」を国に提出することとなる。

イ 事業実施状況の共有、情報交換

各教室の活動状況を共有するとともに、情報交換等を行った。

【チャグホ塾】

- ・参加児童 75 名(1 年生～3 年生対象)
- ・今年度は、18 教室実施。
- ・8 月 26 日(月)に姥屋敷地区放課後子ども教室との交流会を開催し、運動遊びを実施した。

【姥屋敷地区】

- ・参加児童 9 名(1 年生～5 年生対象)
- ・前期は、5 つの体験活動を実施した。
 - ア 実験教室
 - イ ハーバリウム教室
 - ウ ダム見学
 - エ チャグホ塾との交流
 - オ 一本木学童との交流
- ・後期に、柳沢地区放課後子ども教室との交流を予定

【柳沢地区】

- ・参加児童 7 名(1 年生～6 年生)
- ・前期は、4 つの体験活動を実施した。
 - ア 英語教室
 - イ 食育教室
 - ウ まちづくりキット体験
 - エ 一本木学童との交流
- ・後期に、姥屋敷地区放課後子ども教室との交流を予定

ウ 今後の事業展開等について

国の動向を注視しつつ、今後も「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を活用し、事業実施していきたいと考える。

また、受益者負担の考え方についても引き続き検討していきたいと考える。

【参考】	チャグホ塾	年間(保険料込)	550円	料理コース等は材料費負担
	姥屋敷地区	月(保育料等)	6,000円	
	柳沢地区	月(保育料等)	8,000円	

(5) 総評

様々な実態に応じて、創意工夫しながら運営されていることが素晴らしい。

岩手の義務教育では、「知徳体」を総合的に兼ね備えた社会を創造する能力を育てる「人間形成」という言葉が大切にされてきたが、「ウェルビーイングの実現」という言葉が今年度から付け加えられた。ウェルビーイングとは、個人、地域、社会を包括した「幸せや生きがいといった、将来にわたる持続的な幸福概念」ということである。この概念の要素としては、「自己肯定感」「心身の健康」「幸福感」のほか、「安心安全な環境」「学校や地域でのつながり」等も含まれている。学校や地域を含め、それぞれの場において「ウェルビーイングの実現」をも意識しながら、活動を展開していただきたいと思う。

(6) その他

チャグホ塾より、今後の目標として1年間の成果として実施しているチャグホ塾発表会に、姥屋敷地区放課後子ども教室と柳沢地区放課後子ども教室の子ども達にも参加してほしいと考える。1年間かけて取り組んできたことを見てもらい、ほめていただくことも体験活動として重要ではないかと考える。との意見があったため、まず発表会の見学を検討していただくこととした。